

RPPC メールマガジン 第 797 号

リサイクルポート推進協議会（令和元年 10 月 29 日）

■事務局からのお知らせ

(1) 【11 月 5 日開催のリサイクルポートセミナーで初めて CPD 単位取得が可能となりました】

☆（公社）土木学会の継続教育（CPD）認定プログラムです。

☆ 当日受付にて配布致します。

(2) 令和元年度「リサイクルポートセミナー」について【お申込受付中】【再掲】
テーマ「廃プラスチックのリサイクル」

☆挨拶：挨拶：国土交通省 港湾局 海洋・環境 課長 松良 精三 様

☆基調講演：「新しい局面を迎えた国際資源循環 ～廃プラ問題を中心に～」
東北大学大学院国際文化研究科
教授 劉 庭秀 先生

☆講 演Ⅰ：講師：環境省 環境再生・資源循環局 総務課 リサイクル推進室
室長補佐 佐川 龍郎 様

☆講 演Ⅱ：「プラスチック類の資源循環利用の現状」
一般社団法人 プラスチック循環利用協会
総務広報部 広報学習支援部長 富田 斉 様

☆講 演Ⅲ：「Japan Recycled Intelligent PRoducts ～小さな大企業を目指して～」
『平成 30 年度経済産業大臣賞
株式会社リプロ
代表取締役社長 岡田謙吾 様
(平成 30 年度 経済産業大臣賞受賞 「再生プラスチック製情報発信杭の発明」

【日 時】11 月 5 日（火） 14:00～ （13:10 受付開始）

【場 所】第一ホテル東京シーフォート 3 階 ハーバーサーカス

【交 流 会】28 階 トップ・オブ・ザ・ベイ 17:30～

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 「経済と暮らしを支える港づくり全国大会」開催、令和2年度港湾予算満額を

(公社)日本港湾協会ら港湾関係5団体主催による令和元年度「経済と暮らしを支える港づくり全国大会」が10月24日、千代田区平河町の砂防会館で開かれた。全国から各団体の関係者、並びに港湾管理者、市町村首長ら約1000名が参集した。そして、令和2年度の港湾関係予算確保の要求を盛り込んだ「港湾の整備・振興に関する要望書」を満場一致で採択した。当日は国会議員109人が応援に駆け付けた。

大会開会にあたって宗岡正二港湾協会会長は「我が国の経済が順調に成長し、維持・拡大して行くためには港湾がその役割を発揮していく必要がある。このため国際戦略港湾政策を進めるとともにクルーズ旅客船の受入れ環境を整備していくことが必要になる。更には世界最高水準の生産性と労働環境を有するAIターミナルの実現も急がれている。また頻発する自然災害に備える安全・安心への対応が求められている。これに応えるためには港湾予算を確保し、港湾が十全の効果を発揮する必要がある」と挨拶した。

そして来賓の青木一彦国土交通副大臣は「港湾を通じて経済の好循環を拡大し、その成果が全国津々浦々に浸透するよう取組んで参りたい」と挨拶した。

また望月義夫自民党港湾議員連盟会長は、「港湾の発展なくして日本の発展はあり得ない。皆さんは我が国発展のために働いているのだという誇りを今後とも持ち続けていただきたい」と挨拶。

大会では、高田昌行港湾局長が令和2年度予算要求に対応した港湾行政報告を行うとともに、港湾の整備・振興に関する要望を満場一致で採択。宗岡会長が政務三役に要望書を手渡して盛會裡に大会を終えた。

2. 鹿児島県地港審で川内港の改訂港湾計画了承、水深12m耐震強化岸壁等

鹿児島県は10月21日、鹿児島県地方港湾審議会を開催し川内港の港湾計画の改訂、及び名瀬港臨港地区指定(変更)について審議、原案通り了承した。

このうち川内港の改訂ではコンテナ物流、バルク物流の機能強化、並びに大規模地震が発生した場合の物資緊急輸送、地域の安全・安心を確保する港づくり等の観点から、唐浜地区に水深12mの耐震強化岸壁1バース延長230mを新規に位置付けている。また港湾施設整備で発生する浚渫土砂約86万立方mを埋立処分するための海面処分・活用用地として3haを京泊地区に計画、将来は港湾関連用地として土地利用を図ることにしている。

川内港の港湾計画改訂での新たな港湾施設計画では、唐浜地区に水深 12m岸壁を整備し、コンテナ等の取扱い機能を強化する。同岸壁は耐震強化とし、大規模地震時の物流維持、離島地域への物資輸送の役割も担う。

【港湾空港タイムス 10 月 28 日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：丸岡 裕人 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡ください。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡ください。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡ください。